

第3 景観重要公共施設^{※1}

道路、河川、都市公園、港湾などの公共施設は、景観を構成する重要な要素であり、その周辺の土地利用と調和した整備や管理を行うことにより、効果的に良好な景観を形成することが可能となる。このため、景観法に基づく「景観重要公共施設」の制度を積極的に活用し、地域のまちづくりや観光まちづくりなどと連携して、首都にふさわしい風格のある道路、都市の歴史や文化を生かした景観形成の核となる都市公園、地域に親しまれる河川など、良好な景観の形成に配慮した整備を行う。

また、「景観重要公共施設」に位置付けた施設の周辺では、当該公共施設の整備等の機会に合わせて、地域における良好な景観の形成を図る観点から、土地利用を適切に誘導する。

以下に、景観重要公共施設と位置付ける公共施設及び景観法第8条第2項第4号口の景観重要公共施設の整備に関する事項を記載する。

1 景観重要道路

① 行幸通り（特例都道404号：皇居前東京停車場線）

東京駅丸の内駅舎前の広場から皇居に向かう行幸通りは、皇室の公式行事や外国大使の信任状捧呈の車列に使われる由緒ある道路であり、その周辺の建物とともに、日本を代表する空間を形成している。

今後も、「東京駅丸の内口周辺トータルデザインガイドライン」を遵守することにより、丸の内駅舎、交通広場、周辺建物などとの一体性に配慮した維持管理を行い、首都東京の顔となる、風格のある景観の保全を図る。



行幸通り



東京駅を出発する儀装馬車

② 青山通り（一般国道246号）

国道246号青山一丁目交差点から宮益坂上交差点の区間については、東京国道事務所と地元団体、地元区の三者で「青山通り道路景観維持プログラム協定」を締結し、良好な街路環境の維持、魅力的な街並みの形成を目指した活動を行っている。

東京国道事務所では、学識経験者、都、地元区、地元団体代表者などで定めた修景プランに基づいた整備及び維持管理を継続して行うことで、国内外に誇れるよう

^{※1} 景観法第8条第2項第4号口に規定する景観重要公共施設。区市町村が景観法に基づく景観行政団体である場合、当該区市町村の区域における景観法に基づく景観重要公共施設については、当該区市町村が指定する。

な美しい街路空間を創出する。

③ 甲州街道（一般国道20号）

国道20号追分交差点から高尾駅前交差点の区間については、樹齢80年を超える街路樹のイチヨウ（八王子市指定天然記念物）が四季折々の特徴ある景観を造り出している。

沿道周辺には、皇族陵墓である武蔵陵墓地があり、東京都や八王子市によって、遊歩道や親水護岸の整備など、景観に配慮した地域整備が進められている。

相武国道事務所では、周辺整備に合わせて、電線類を地中化し、歩道の整備を行った。

今後も優れた道路景観を形成するため、維持管理を行う。



青山通り



甲州街道（高尾駅付近）

2 景観重要都市公園

① 日比谷公園

日比谷公園は、日本初の洋風近代公園として明治36年に開園した、100年の歴史を持つ公園である。公園の改修や再整備に当たっては、「日比谷公園マネジメントプラン」等の改修・再整備方針に基づき、基本的に開園当時の地割^{※1}を踏まえた整備を行い、東京のシンボリック公園としての魅力の向上及び観光資源となる景観の形成を図る。

② 浜離宮恩賜庭園

浜離宮恩賜庭園は、江戸時代の代表的な将軍の庭園として、国の特別名勝及び特別史跡に指定されている庭園であり、「東京都における文化財庭園の保存活用計画書（浜離宮恩賜庭園）」に基づき、保存・復元・管理を実施し、歴史的資源の保全を図る。

③ 上野恩賜公園

上野恩賜公園は、明治6年の太政官布達によって日本で初めて指定された公園である。「上野恩賜公園再生基本計画」及び「上野恩賜公園マネジメントプラン」等の改修・再整備方針に基づき整備を推進し、特色ある地形や自然、歴史的・文化的な特性を生かした景観の再生を図る。

^{※1} 地割：地面の区画、地所の割付

④ 国営昭和記念公園

国営昭和記念公園は、昭和天皇御在位 50 年記念事業の一環として設置された国営公園である。豊かな緑と深い樹林地を基調とする園地には、広大な芝生広場や豊かな季節感を演出する花園、日本庭園等が配置されている。

今後とも「国営昭和記念公園基本計画」に基づき、整備や維持管理等を進め、我が国を代表する大規模公園にふさわしい風格ある景観の創出を図る。

⑤ 井の頭恩賜公園

井の頭恩賜公園は、日本最初の恩賜公園であり、日本における初めての郊外公園として、大正6年に開園した。「井の頭恩賜公園マネジメントプラン」等の改修・再整備方針に基づき、雑木林や井の頭池などの自然と調和する整備を推進し、武蔵野の風景の保全及び再生を図る。

⑥ 小石川後樂園

小石川後樂園は、江戸を代表する大名庭園として、国の特別史跡及び特別名勝に指定されている庭園であり、「東京都における文化財庭園の保存活用計画書（小石川後樂園）」に基づき、保存・復元・管理を実施し、歴史的資源の保全を図る。

⑦ 旧岩崎邸庭園

旧岩崎邸庭園は、明治時代の邸宅建築の傑作である洋館、撞球場、大広間及び宅地が「旧岩崎家住宅」として国の重要文化財に指定されている庭園であり、「旧岩崎邸庭園保存活用計画書」及び「周期維持管理計画」に基づき、建造物の修復・修理等を実施するとともに、芝庭等の復元を行い、歴史的資源の保全を図る。

⑧ 水元公園

水元公園は、広大な敷地にポプラ並木やメタセコイアの森が広がり、都内最大のしょうぶ菖蒲田を持つ公園である。「水元公園マネジメントプラン」等の改修・再整備方針に基づき、小合溜や大小の水路が園内を走る都内唯一の水郷の景観の保全を図る。

⑨ 小金井公園

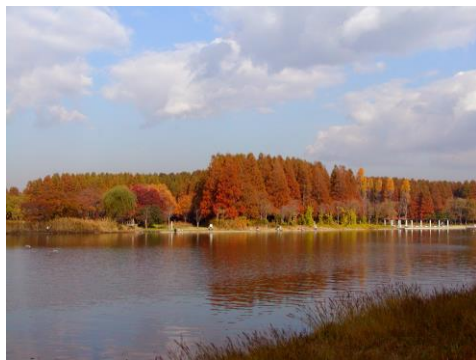
小金井公園は、名勝小金井サクラがある玉川上水に隣接し、公園内はサクラの園や広々とした草地、雑木林が広がる公園である。「小金井公園マネジメントプラン」等の改修・再整備方針に基づき、武蔵野の面影が残る景観の保全を図る。



井の頭恩賜公園



日比谷公園



水元公園



小金井公園

3 景観重要河川

① 隅田川

隅田川は、江戸の昔から人々に親しまれてきた河川であり、「隅田川流域河川整備計画」に基づき、河川沿いの開発などに合わせて、親水護岸、テラス及びプロムナードを連続させて親水性を高め、河川を軸とした開放感とともに、美しく、庶民性の中にも品格のある景観を形成する。

② 神田川（日本橋川などの支川を含む。）

神田川は、高密度に市街化が進んだ東京を東西に横断する貴重なオープンスペースであり、今後策定する「神田川流域河川整備計画」に基づき、親水拠点や沿川緑化などの整備を進め、骨格的な水と緑による景観のネットワークを形成する。

③ 小名木川

小名木川は、江戸時代には「塩の道」として水運が栄えた重要な河川であり、「江東内部河川整備計画」に基づき、風情ある空間を創出する護岸などを整備し、江戸情緒を醸し出す水辺空間を形成する。

④ 旧中川

旧中川は、小名木川と共に江東内部河川を代表する河川であり、「江東内部河川整備計画」に基づき、水位が一定で緩やかな流れを持つ河川の特徴を生かして、河川と公園の一体的な整備や、生態系に配慮した自然環境の創出などを進め、親水性の感じられる景観を形成する。



小名木川



旧中川

⑤ 多摩川

多摩川は、都市に残された水と緑のオアシスとして多くの市民に親しまれる河川であり、「多摩川水系河川整備計画」等に基づき、河川や周辺環境が織り成す個性的な魅力づくりに配慮した整備や生態系に配慮した自然環境の保全・創出などを進め、多摩川らしい河川景観を形成する。



多摩川

4 景観法第8条第2項第4号口の政令で定める景観重要公共施設

① 皇居外苑

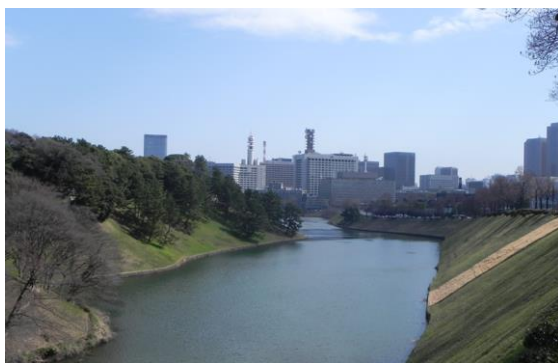
皇居外苑は、昭和24年に旧皇室苑地の一部が国民公園として開放されたものである。クロマツ林と芝生広場が特徴的な皇居外苑地区、森林公園として整備された北の丸地区、皇居を取り巻く濠^{ほり}などの皇居外周地区に大別される。

特別史跡江戸城跡としての歴史的景観を後世に引き継ぐため、管理運営の方針に基づき、樹木の育成、濠^{ほり}の水質保全、石垣や歴史的建築物の保全、改修等に取り組み、歴史的な景観の保全を図る。

② 新宿御苑

新宿御苑は、明治時代に皇室の庭園として始まり、戦後、国民公園として一般に公開されたものである。フランス式整形庭園、イギリス風景式庭園、日本庭園が巧みに組み合わせられた、独特の様式を特徴としている。

今後とも「歴史・文化遺産等の継承」などを柱とする新宿御苑「環境の杜」構想に基づき管理、整備を進め、快適な利用環境との調和を図りながら歴史的な庭園景観を保全、創出する。



皇居外苑



新宿御苑

